

# 品質保証研究会 第22回通常総会

開催日 : 平成24年6月29日(金)  
14時00分 開会

開催場所 : 学士会館(地下鉄神保町駅)  
総会/講演 2階 202号室  
東京都千代田区神田錦町3-28 電話(03)3292-5936

## 開催スケジュール

1. 議案審議 14:00~14:30

### < 議事次第 >

開会宣言

会長挨拶

議長選任

議案審議

- ・第1号 議案 平成23年度活動報告並びに収支決算案承認の件
- ・第2号 議案 平成24年度活動計画並びに収支予算案承認の件
- ・第3号 議案 平成24, 25年度役員選任の件

役員紹介

閉会宣言

2. 定例研究会 第1グループ活動状況 14:30~14:40

3. 定例研究会 第2グループ活動状況 14:40~14:50

..... ( 休憩 10分 ) .....

4. 特別講演 15:00~16:50

講師 : 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)

教授 川口 淳一郎氏

演題 : 『高い塔を建てなければ新たな水平線は見えない』

★ 懇談会 学士会館 2階 203号室 17:00~19:00

以上

## 品質保証研究会 平成23年度活動報告

### 1. 活動状況

(1) 平成23年度の活動は、第21回通常総会で承認された活動計画に基づき展開し、所期の成果を収めることができた。

番号	項目	内容		回数
1	通常総会	第21回通常総会の開催		1回
2	品質保証研究会全体活動	会員相互間の啓発	講演会	1回
			見学会	0回
3	QASGニュースの発行	会員の活動状況や、品質保証に関する情報交換	第74号～75号	2回
4	定例研究会活動	グループ毎にテーマを定めての品質保証に関する調査・研究活動と会員への成果提供	第1グループ	2回
			第2グループ	4回
5	20周年記念事業	会員および関係者への20年誌CD(コンパクトディスク)の配布		1件

(2) 平成23年度品質保証研究会の活動実績を表1に示す。

### 2. 活動要約

平成23年度の活動要約を表2に示す。

表1 品質保証研究会 平成23年度活動実績

○・▽：計画  
▼：実績

項目	2012年(平成24年)													
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総会		第21回 6/14(火) ▼												第22回 6/29(金) ▼
	講演会							○-----▼ (案内発送)	第39回 -----▼	第39回 -----▼				
全体活動	見学会								○-----▼ (案内発送)	2/3 ▼ 有人宇宙システム 前村氏				
	実績									第38回 -----▼			----->>> (調整中)	
第1グループ	QA SG ニュース		○-----▼ (依頼)	⊖-----▼ (締切)	74号 -----▼ (発行)								⊖-----▼ (依頼)	75号 -----▼ (発行)
	実績	73号 ▼ (発行)				74号 ▼ (発行)				▽ (研究会)				75号 ▼ (発行)
第2グループ	計画					▽ (研究会)		▽ (研究会)		▽ (幹事会)		▽ (研究会)		
	実績									2/8 ▼ (幹事会)		4/20 ▼ (研究会)		
H. Pメン テナンス	計画					▽ (幹事会)		▽ (幹事会)		▽ (幹事会)		▽ (幹事会)		
	実績									2/24 ▼ (幹事会)		4/25 ▼ (幹事会)		6/22 ▼ (幹事会)
幹事会	講演会開催案内・QASGニュース・総会の案内掲載など随時更新を実施													
	実績													
第137回	計画	第137回 ▼	第138回 ▼		第139回 ▼		第140回 ▼		第141回 ▼		第142回 ▼	第143回 ▼	第144回 ▼	
	実績	5/19 ▼	6/14 ▼	9/27 ▼	11/29 ▼		11/28 ▼ (幹事会)		1/13 ▼		3/28 ▼	4/23 ▼	5/25 ▼	

表2 平成23年度 品質保証研究会 活動要約

番号	項目	日時・場所等	参加人員	内容
1	第21回 通常総会	平成23年6月14日(火) TKP 日本橋ビジネスセンター カンファレンスルーム1C	94名 (出席32名、委任状62名)	(1) 議案審議 ①平成22年度活動報告・会計報告の承認 ②平成23年度活動計画・予算案の承認 ③会則改定の承認 ④平成23,24,25年度顧問の承認 (2) 20年誌の紹介
2	講演会 第39回 講演会	平成24年2月3日(金) TKP 日本橋ビジネスセンター 会議室	51名	国産ロケット打上げの失敗と成功から学んだこと 前村 孝志氏 [有人宇宙システム(株) 常務取締役]
3	見学会	実施せず		
4	定例研究会	第1グループ (リーダー: 武田博文 幹事)	(1) 研究テーマ 品質保証システム研究 (2) 研究の内容 1) 福島第一原子力発電所事故を踏まえ、原子力のQMSのあるべき姿に関する検討 2) 原子力特有活動を踏まえたQMSの検討 ⇒上記検討を経て、以下状況を踏まえ、原子力QMSのあるべき姿を追求するため、セクタ規格の調査・研究を行うこととした。 ・IS09001:2008、JEAG4121-2009 附属書-1の要求を満足するQMSを構築し、品質保証活動を実施しているが、実態として設計検証、解析業務等で管理の強化を行っている。 ・自動車、航空、医療業界ではセクタ規格として、統計手法やリスクマネジメント等を規格で明確化している。	研究幹事会 第1回 平成24年2月8日 ・平成24年度活動案の提示と方針討議 ・Management System Standard 紹介 ・日本電気協会ワークショップ 活動紹介  定例研究会 第1回 平成24年4月20日 ・平成24年度活動に関する討議
		第2グループ (リーダー: 三角竜二 幹事)	(1) 研究テーマ エラーマネジメントに関する調査研究 (2) 研究の内容 1) 福島第一原子力発電所事故に関する討議 2) 何が起きても対応できるシステム・組織の検討 ・東京電力、政府事故調査・検証委員会等各種事故報告書を基に事故の組織要因について討議した。 ・想定外事象の課題として以下のような4つの課題が提案された。 ①想定外事象とは初期事象なのか、結果として現れた事象、影響か。 ②国家としての対応はどうあるべきか。 ③想定外事象に対しハード的にどこまで対応できるか。 ④想定外事象で人間や組織の対応をどこまで期待できるか。 ・この課題の中で、①想定外の考え方、④国、電力、メーカーのあるべき姿、さらには個人・組織の必要な能力について調査・研究することとした。	研究幹事会 第1回 平成23年11月28日 第2回 平成24年2月24日 第3回 平成24年4月25日 第4回 平成24年6月22日
5	QASG ニュースの発行	(1) 第74号 平成23年10月 (2) 第75号 平成24年6月		①第21回通常総会報告 ②平成23年度第1・2グループ活動計画および活動報告 ③平成23年度役員紹介 ④第37回見学会報告、他
6	20周年 記念事業	第21回通常総会において、会員および研究会の活動に貢献のあった先輩、関係者に20年誌のCD(コンパクトディスク)を配布した。		
7	幹事会	上記諸活動の計画・推進または支援のため、必要な都度、幹事会を開催した。 (幹事会: 第138回~第144回の計7回開催)		

品質保証研究会・平成23年度収支計算書  
(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

収入の部

単位:(円)

貸方科目	計	予算額
会費収入	900,000	950,000
講演会参加費収入	151,000	100,000
見学会参加費収入	0	40,000
その他収入	10,000	0
利息収入	221	0
収入 計	1,061,221	1,090,000

支出の部


借方科目	計
会議費	142,286
印刷費	224,175
諸謝金	50,000
旅費交通費	0
通信運搬費	93,910
図書資料費	0
消耗品費	1,911
雑費	3,885
支出 計	516,167
収支差額	545,054
合計	1,061,221

事業項目別支出内訳	支出額	予算額
総会関係	70,980	200,000
定例研究会	16,816	450,000
講演会 1回	121,306	100,000
見学会 0回	0	40,000
ホームページ	192,990	200,000
20周年記念事業	114,075	400,000
合計	516,167	1,390,000


本研究会財産状況及び関係証拠書類等を監査した結果、収支計算書の数値は正確であり、本会の財産は適正に管理されていると認めます。

以上

平成24年5月17日

監事 矢作 強 

矢作 強

監事 渡邊 邦道 

渡邊 邦道

品質保証研究会・貸借対照表  
(平成 2 4 年 3 月 3 1 日現在)

単位:(円)

資産の部		
勘定科目	金額	備考
流動資産		
現金	781	
銀行口座	1, 922, 254	
郵便振替口座	130, 450	
流動資産合計	2, 053, 485	
固定資産	0	
固定資産合計	0	
資産合計	2, 053, 485	
<b>合計</b>	<b>2, 053, 485</b>	

負債の部		
勘定科目	金額	備考
流動負債		
未払金	0	
流動負債合計	0	
負債合計	0	

正味財産の部		
勘定科目	金額	備考
繰越金		
前期繰越金	1, 508, 431	
当期収支差額	545, 054	
繰越金合計	2, 053, 485	次期繰越金
正味財産合計	2, 053, 485	
<b>合計</b>	<b>2, 053, 485</b>	

## 品質保証研究会 平成24年度活動計画

### 1. 活動方針

#### (1) 基本方針

活動成果のなお一層の充実とその活用を図るため、以下の活動を実施する。

- ・ 全会員対象の講演会、見学会を計画し、会員相互の啓発を図る。
- ・ 定例研究会活動として、第1、第2の各グループのテーマに基づく、輪読、講義、購読、見学等の活動を推進すると共に、その活動成果を取り纏めて、会員の活用に供するように努める。
- ・ 会員間の情報交換、コミュニケーションの場の提供を図るため、QASG ニュースを発行すると共に、ホームページの有効活用を図る。

#### (2) 東北地方太平洋沖地震の考慮について

当会会員の多くが、東日本大震災の復旧・復興対応、東京電力福島第一原子力発電所の対応などに関わっていることを考慮して活動する。具体的には、都度、幹事会において審議・調整する。

以上の方針に基づき、平成24年度の具体的な推進計画を以下に示すと共に、全体の活動計画(補足)を表1に示す。

### 2. 活動計画内容

平成24年度活動計画の主要項目を以下に示す。

#### 2.1 総会

- ・ 第22回通常総会を開催する。
- ・ 総会終了後、定例研究会活動報告(第1グループおよび第2グループ)、特別講演(JAXA 川口淳一郎氏による「高い塔を建てなければ新たな水平線は見えない」、および懇談会を行う。

#### 2.2 講演会の開催

上期(平成24年9月)と下期(平成25年1月)、それぞれ1回の講演会を予定する。

#### 2.3 見学会の開催

下期(平成24年11月) 1回の見学会を予定する。

#### 2.4 「QASG ニュース」の発行

年度内(平成24年9月、平成25年1月、25年5月)3回のQASG ニュース発行を予定する。

#### 2.5 定例研究会活動

##### (1) 第1グループ(リーダー: 武田幹事)

- ・ 研究テーマ:  
品質システムの研究「原子力QMSのあるべき姿に関する研究 -セクタ規格の調査・研究-」
- ・ 研究の進め方:  
原子力QMSのあるべき姿を追求するためセクタ規格の調査・研究を行い、原子力QMSのあるべき姿について提言する。
  - 1) セクタ規格の調査  
自動車/医療/航空宇宙業界のQMSに関するセクタ規格、及び海外QAプログラムとしてNSQ-100規格の要求事項について、ISO9001:2008との比較調査を行い、特徴的な要求について抽出を行う
  - 2) 原子力QMSのあるべき姿の提言  
抽出された各セクタ規格での活動が、原子力業界として実効的な品質保証活動に繋がるかの、また原子力のあるべき姿とは何かについて討議する。討議の結果を、原子力セクタ規格としての提言としてまとめる。

##### (2) 第2グループ(リーダー: 三角幹事)

- ・ 研究テーマ: エラーマネジメントに関する調査研究
- ・ 研究の進め方:
  - 1) 安全思想の再構築(想定外対応を統合した安全思想の再構築)  
H23年度検討した「安全思想の再構築」を、以下の観点で引き続き調査・研究する。
    - ① 「想定外の考え方」について、今回の津波のような初期事象と全交流電源喪失などの結果として現れた事象、影響をどう考えるか。
    - ② 複合巨大災害(いわゆる想定外)に対する国、電力、メーカーのあるべき姿、さらには個人・組織に必要な能力
  - 2) QMSとレジリエンス・エンジニアリングとの融合  
QMSの本来の目的は安全の達成である。しかし現状のQMSは手順書に重点をおいたQMSとして日常的業務に力点を置いており、複合巨大災害を想定する仕組みではなかった。これを受け、柔軟な対応力(レジリエンス)を付加・融合したマネジメントシステムを調査・研究する。
  - 3) 共通要因分析の標準的方法の検討

以上

表1 品質保証研究会 平成24年度活動計画

項目	2012年(平成24年)						2013年(平成25年)						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総会	第22回 6/29 ▽											第23回 ▽	
	計画		○--- (案内発送)	第40回 --- ▽			○--- (案内発送)	○--- (案内発送)					
講演会													
実績													
見学会	計画					第38回 --- ▽							
	実績												
QA SG ユニ ース	計画	75号 ▽ (発行)	○--- (依頼)	76号 --- ▽ (発行)		○--- (依頼)	○--- (依頼)	77号 --- ▽ (発行)		○--- (依頼)	○--- (締切)	78号 --- ▽ (発行)	
	実績												
第1 グループ	計画		▽ (研究会)			▽ (研究会)		▽ (研究会)		▽ (研究会)		▽ (研究会)	
	実績												
第2 グループ	計画			▽ (幹事会)		▽ (幹事会)						▽ (幹事会)	
	実績									▽ (幹事会)			
H. Pメン テナンス	計画												
	実績												
幹事会	計画				第146回 ▽		第147回 ▽					第148回 ▽	第149回 ▽
	実績												



第2号議案-2

品質保証研究会・平成24年度収支予算案

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

単位:(円)

収入の部	金額		前年度予算額
会費収入	950,000		950,000
講演会参加費収入	40,000	2回分	100,000
見学会参加費収入	20,000	1回分	40,000
収入計	1,010,000		1,090,000
前期繰越金	2,053,485		
合計	3,063,485		

支出の部	金額		前年度予算額
総会関係	400,000		200,000
定例研究会関係	450,000		450,000
講演会	250,000	2回分	100,000
見学会	40,000	1回分	40,000
ホームページ	200,000		200,000
その他	0		400,000
支出計	1,340,000		1,390,000
予備費	1,723,485		
合計	3,063,485		

第3号議案

品質保証研究会 平成24・25年度 役員候補

- 会長 関村 直人 0001 せきむら 直人 (東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻・教授)
- 副会長 田中 朗雄 0118 たなか 朗雄 (株式会社 東芝)
- 副会長 石橋 邦夫 0214 いしはし 邦夫 (株式会社 日立製作所)
- 副会長 神田 誠 0225 かんだ 誠 (三菱重工業 株式会社)
- 幹事 岩瀬 啓二 0029 いわれ 啓二 (株式会社 東芝)
- 幹事 三角 竜二 0072 みすみ りゅうじ (三菱重工業 株式会社)
- 幹事 奈良 順一 0119 なら じゅんいち (東京電力 株式会社)
- 幹事 武田 博文 0128 たけだ ひろふみ (株式会社 東芝)
- 幹事 中村 誠 0178 なかむら 誠 (清水建設 株式会社)
- 幹事 今村 敬 0212 いまむら 敬 (MH I 原子力エンジニアリング 株式会社)
- 幹事 小嶋 真作 0227 こじま しんさく (日立GEニュークリア・エナジー 株式会社)
- 幹事 三村 靖 0234 みむら やすし (日立GEニュークリア・エナジー 株式会社)
- 監事 渡邊 邦道 0084 わたなべ くにち (一般社団法人 日本原子力技術協会)
- 監事 岡澤 需 0226 おかざり 需

以上